

Track. 11

水平線

僕の生まれた街は古ぼけたビルと虫食いの空き地が広がって
水平線なんてどこにも見えなかったよ

テレビや雑誌で見る海はいつもどこまでも広がっていて
僕もいつかはどこかへ行けると信じていた

やっと抜け出せたと思ったけど 気がついてみればまたここに戻ってる
そして失ったものの大きさだけが分かるようになったんだ

みんなと同じようになろうと思っていただけ
いつのまにか一人だけになっていた

これでもできることは全てやってきたつもりさ
でももうこれ以上先には進めないよ

きっと君もそうだったんだろう だからって分り合えるわけでもないけど
うまくいかなかたって構わないんだよ ただ元に戻るだけなんだから

僕が帰ってきた街は古ぼけたビルと虫食いの空き地が広がって
水平線なんていまも見えないんだよ